

(別添6)

平成23年度子育てサポーター育成講座受講者アンケート集計

実施方法: 第1～第4回のうち1回以上の参加者に対し郵送形式でアンケート実施(H24年1月末)

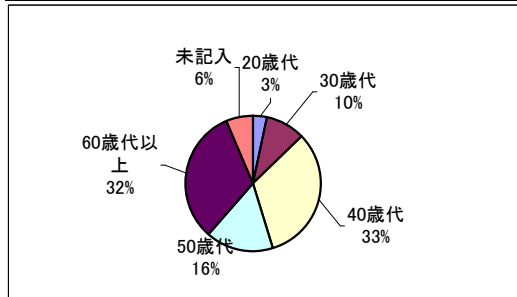
対象者: 38名

回収率: 79.5%(31名)

<集計結果>

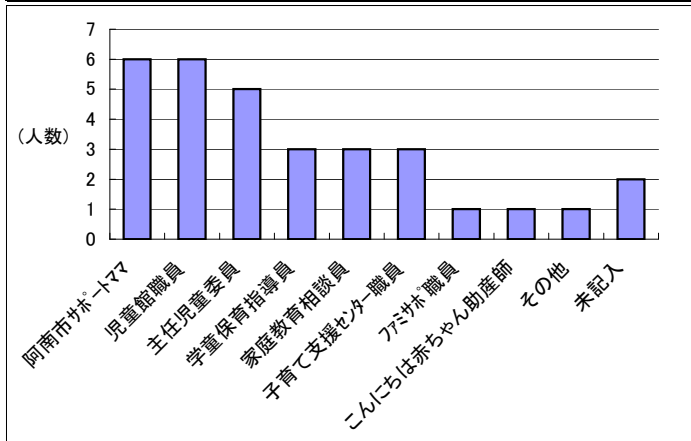
1. 回答者年齢

年代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	未記入	計
人数	1	3	10	5	10	2	31



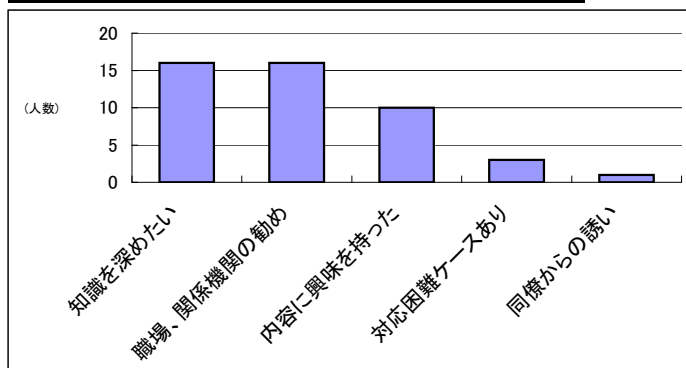
2. 所属

所属	阿南市サポートママ	児童館職員	主任児童委員	学童保育指導員	家庭教育相談員	子育て支援センター職員	ファミサポ職員	こんにちは赤ちゃん助産師	その他	未記入	計
人数	6	6	5	3	3	3	1	1	1	2	31



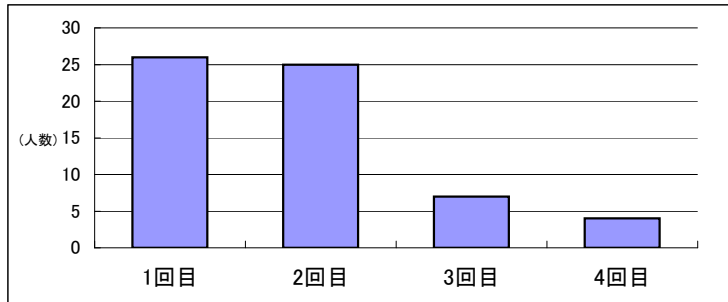
3. 本講座に参加されたきっかけは何ですか？(複数回答可)

参加動機	知識を深めたい	職場、関係機関の勧め	内容に興味を持った	対応困難ケースあり	同僚からの誘い
人数	16	16	10	3	1



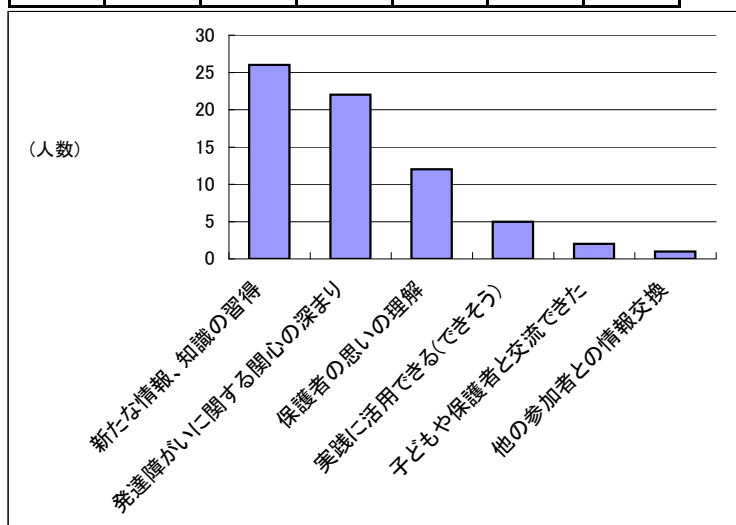
4. 本講座に参加された日(複数回答可)

参加状況	1回目	2回目	3回目	4回目
人数	26	25	7	4



5. 本講座に参加されたことで何か得るものがありましたか?(複数回答可)

参加して得られたこと	新たな情報、知識の習得	発達障がいに関する関心の深まり	保護者の思いの理解	実践に活用できる(できそう)	子どもや保護者と交流できた	他の参加者との情報交換
人数	26	22	12	5	2	1



6. あなたがお住まいの地域で、障がいを持ったお子さんやその家族が安心して生活できるためには、どのようなサービスや人材が必要だと思われますか?

意識啓発、交流の場	偏見なく、優しく見守り手をさしのべる事ができること
	一般住民に障がいへの知識を広め理解してもらい、どんどん行事に参加して交流する機会を増やすことから始める。
	交流の場や子ども同士が遊べる場を設定する。
	障がいへの理解を深めるために情報を流したり体験談を聞きたい。
	子育て支援センターは支援の場であり障がいを持った子ども達ももっと自由に遊びに来てくれる場所であることを知らせていく必要がある。お母さん同志にとっても交流の場であるので障害のある子を周りが受け入れる場をもっと作っていききたい。
関係機関等の連携	集団生活に入る際、周囲の子どもやその家族にわかりやすく児の状態や個性を説明してくれる人がいると集団に溶けこみやすくなる。
	公民館活動や学校連携などで話し合いの場を持つ。
研修会の実施。人材育成	福祉活動が子育てまで広がっていきけるよう、民生委員や相談員の研修会を開催する。
	機会があればいろんな知識を勉強し交流会など自由に参加したい。
	障がいを持った子どもに対する理解や知識を、専門家だけでなく地域住民にも深めてほしい。
	このような講座を繰り返しより多くの方に伝えてほしい。

サービスや支援体制の確保	<p>デイサービスの充実。マンツーマン(或いは複数)の子育てサポーターやパートナー(ボランティア可)</p> <p>放課後や長期休暇(夏休み)に学童保育のような形で利用できるサービスが必要。現在のところ障がいのある子は学童保育が利用しにくい状況にあると思う。・学校までの送迎や医療機関受診時の送迎など現在の福祉サービスはかなり利用に制約があるのでもう少し利用しやすいサービスが必要。・ファミリーサポートセンターのような組織の中で専門職の方が障害のある子を専門的に見てもらえるサービスがあれば良いと思う。</p> <p>家族の緊急事態時など地域や組織団体にフォローできるシステムが必要だと感じた。</p> <p>某市のように障がいをもった幼小中学生が放課後支援センターへ行ってサポーター(雇用)の人が個別に対応する制度、障がい児サポートセンター、ファミリーサポートセンターのようなもの。ただし保護者に経済的負担がかからないよう行政が補助金を出すこと。</p> <p>デイサービス、ショートステイなど保護者が少しでも息抜きできるようなサービスがもっともっと必要である。</p> <p>もっと気軽に相談できるような相談機関からのアピールが必要。相談したい気持ちがあっても躊躇したり、窓口がわからず、本当に相談が必要な人ができていない可能性もある。</p>
教育	<p>できる限り同じ保育所、幼稚園、小学校、中学校での学校生活が過ごせるような教育環境が必要だと感じる。</p>
就職	<p>障がい者を受け入れる職場を増やすためにどうすればよいか課題。</p> <p>障がい児の就職に際してその子の特性が企業で生かせるようサポートできるコーディネーターや職場で疲れた時相談できる所が必要。</p>